

平成 17 年第 2 回定例会議決結果

議案	付託 委員会	本会 議の 議決	市 政 11	新 政 1	市 フ 7	市 ク 1	公 明 5	生 ネ 2	共 産 3
----	-----------	----------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

条例・予算

府中市公の施設における指定管理者の指定の 手続等に関する条例	総務	可決							
府中市手数料条例の一部を改正する条例	総務	可決							
府中市市税条例の一部を改正する条例	総務	可決							
府中市社会福祉法人に対する助成に関する条例	厚生経済	可決							
府中市民医療センター条例の一部を改正する 条例	厚生経済	可決							
府中市地区計画の区域内における建築物の制 限に関する条例	建設環境	可決							×

請願

産業廃棄物処理場の設置に関する陳情	建設環境	採択							
-------------------	------	----	--	--	--	--	--	--	--

陳情

産業廃棄物処理場の設置に関する陳情	建設環境	採択							
四谷 5 丁目生コンプラント建設計画にかかわ る陳情	建設環境	採択	×						
教科書採択の情報公開・採択理由の明示を求め る陳情	文教	採択		#2			×	×	
静ひつな教科書採択環境の確保を求める陳情	文教	採択		#3			×	×	
モーターボート競走法の改正及び公営企業金 融公庫納付金制度の廃止へ向けて国に対し意 見書の提出を求める陳情	総務	採択							
(株)長谷工コーポレーションが計画中の土地利 用構想への陳情	建設環境	採択							

# 1 は、土方議員は退席 # 2 # 3 は、村崎議員・稲津議員が不採択

府中市議会議員・民主党・府中の元気

杉村康之



ご意見ご声援をよろしく申し上げます！

TEL 042-335-0097 / FAX 042-361-9856 / Email sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL <http://www.fuchu21.gn.to/> カンパ口座 郵便振替 00150-1-102251

府中一新、日本一新。

府中の元気

# フリーダムネット

No.15 2005.7

6 月議会報告

## ソフトパワーとは何か？

若い職員のアイデアを活かせ  
市民の自主的な活動への支援を

### <暮らしはこう変わる>

公の施設の管理を民間に委託する場合、これまで社会福祉法人など特定の団体に限られていましたが、指定管理者制度という新しい制度により、今後は株式会社なども委託の対象となります。

医療センターの名称が保健センターと変更されました。また、都から買い取った旧保健所がその保健センターの分館となります。

適切な土地利用を図るため、地区計画を設定することにより、建物の用途や高さ、敷地の最低面積などに一定の制限をかけることができるようになりました。

## ソフトパワーあふれるまちづくりに向けて

杉村 市長がいう「ソフトパワーあふれる魅力的な市」とは？

野口市長 市民と職員の知恵と力を結集し、市民との協働による美しい風格のあるまちを目指している。具体的には、活気があふれ、しかも自然や歴史、生活などの環境が快適で、充実している府中のまちの魅力にさらに磨きをかけ、ここに住むことに誇りを感じることでできるまちづくりを推進する。

それによって、まちそのものがブランド化され、市民の元気に満ちたソフトパワーのあふれるまちになり、市外の人をも強く引きつける魅力のある都市になると考える。

杉村 ソフトパワー推進のための、これまでの成果と今後の課題は？

総務部長 マイバッグ運動や市政施行 50 周年記念事業は大きな成果。中でも喜びの集いと記念パレードは、市民と市が協働することにより初めて実現できた他市に例を見ない記念事業だった。今後は、イベントのような一過性の協働だけではなく、持続性のある協働を一層深めていきたい。

杉村 NPO ボランティア活動への支援について、成果と課題は？

生活文化部長 平成 14 年には市の組織に NPO ボランティア支援担当と担当の市政ディレクターを設置した。また活動センターを開設し、登録団体への相談、情報提供、会議室等の貸出などを行っている。

今後の課題は、より多くの市民の参加、自主的な活動を目指し、情報提供の充実を進め、協働を推進すること。本年度は、市民活動を紹介するインターネットサイトの構築を計画している。

杉村 持続的な協働、市民の自主的な活動が課題だが、そのためには新しい発想をもった職員や自発的な市民のアイデアをどれだけ活かせるかが大切だ。

職員のアイデアを施策に活かすしくみはあるか？ NPO へのマネジメント研修などは行っているか？ 公募型補助金の展望は？

総務部長 職員提案制度があり、平成 14 年度に 100 件、15 年度に 50 件、16 年度に 92 件の提案があった。実現した事例として、地下駐車場の壁の一部撤去、職員の防犯活動への参加、広報紙への有料広告の掲載などがある。

生活文化部長 研修については、市民活動向けの各種講座を行っている。税務・労務・会計についてのマネジメント講座も実施している。

公募型補助金は、市民の参加意欲の向上や市民活動の促進を目的とするもの。具体的な導入に向けて、広い層の市民から応募されるような本市の特色ある補助金として定着するよう検討したい。

杉村 具体的な取り組みを推進する部署は？

総務部長 すべての部署がそれぞれの分野において中心でなければならないが、特に生活文化部・市民活動支援課がソフトパワー推進の中心を担う。

## 職員や市民の新しい発想を活かせ

私は自分の選挙で、「民の力」を活かしたまちづくりを進め、「府中モデル」と呼ばれるような新しい取組みを全国へ向けて発信しよう、と訴えました(www.fuchu21.gn.to/kouhou.html)。「ソフトパワー」は「府中ブランド」と並んで、野口市長の二大公約の一つですが、これらは私が目指すものと同じ意味と考えます。

この 2 年間、野口市長の姿勢を見聞きしてきて、この公約への市長の想いは真剣であると感じています。ただ、その想いに市が組織としてついて来ているか、疑問も感じます。そこで今回、「ソフトパワー」推進について、これまでの成果と今後の課題、推進主体を質問したわけです。

これまでの施策について思うのは、答弁にもあるように一過性のイベント的なものが主であるということです。喜びの集いなどはその集大成として意義あるものではありませんでしたが、今後は「持続性のある協働」が課題です。また市民との協働といっても、実体は市の職員が事務局に入り実務を担っている場合がよくあります。これでは協働とは名ばかりで、職員の仕事を増やすだけです。「市民の自主性・自発性」が今後の重要な課題でしょう。

そうした課題を踏まえ後半で質問したのが、職員提案制度、NPO へのマネジメント研修、公募型補助金などです。驚いたのは、職員提案が過去 3 年間で 242 件あったにもかかわらず、実現した事例が数件で、しかも庁内のことばかりだったことです。私は、自分と年代の近い若い職員ともできるだけ話をするようにしていますが、彼らの中には新しい発想や意欲があります。それが組織の中に十分に活かされていないように感じていましたが、この数字はそれを裏付けているように思います。

市民のソフトパワーを活かすには、先ず、市が率先して職員のソフトパワーを活かさなければなりません。そのためのしくみが必要です。横浜市では庁内ベンチャーという、新しい提案をした職員を、その担当課に異動させ、提案者本人に施策の推進を任せるしくみがあります。

今回はソフトパワーの概要を聞きましたが、次の機会には一歩踏み込んで、職員や市民の力を具体的に引き出すしくみを取り上げます。

